

きときとPT

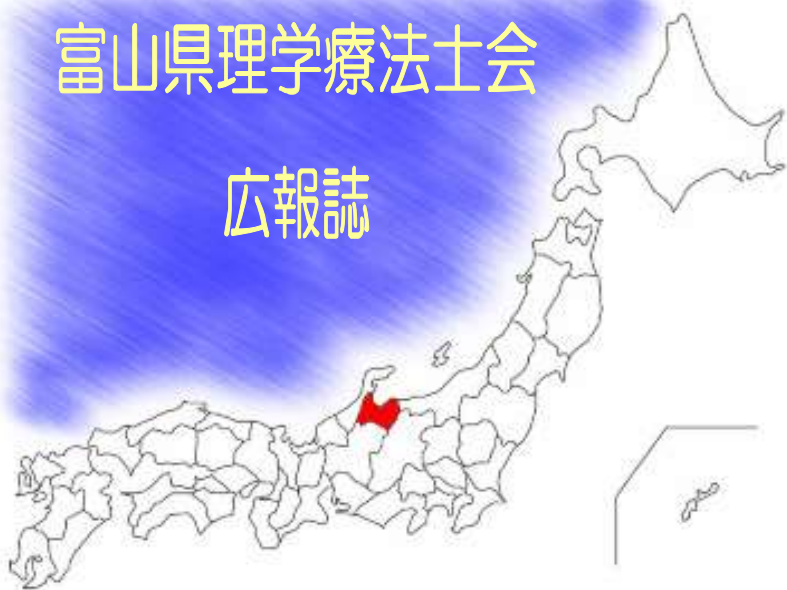
第2号

2007

TOYAMA

富山県理学療法士会

広報誌



*Physical
Therapist*

②③理学療法士の仕事

回復期病棟の理学療法士
小児施設の理学療法士

④⑤“車いす”を知ろう!

⑥理学療法週間

⑦介護するひとされるひとの いきいき広場



理学療法士の仕事

回復期病棟の

理学療法士

回復期病棟とは二〇〇四年の診療報酬改定で新設されたリハビリテーションを集中的に行うための病棟です。この病棟の特徴は対象者を、発症から二ヶ月以内の脳卒中・脊髄損傷・大腿骨頸部骨折や外科手術・肺炎のため身体機能の低下した患者さんに特定していることです。もうひとつの特徴は回復期病棟のみを担当する医師、看護師、理学療法士、作業療法士が配置されていることで、強力なチームアプローチの実践が可能となることです。急性期病院では在院日数の短縮が進められていますが、病気やケガの後遺症のため日常生活に多くの介護が必要な方が短い入院期間で在宅に戻られた場合、家族の介護負担が大きく退院後の自宅での生活を維持すること



が困難になります。急性期病院を退院して在宅生活に戻る間の定められた期間内で、日常生活の自立度を向上させ、在宅生活にスムーズに戻るようになるために特化した病棟が回復期病棟です。回復期病棟で働く理学療法士はリハビリテーションチームの一員として、カンファレンスや病棟申し送りに

参加し医師・看護師・他のリハスタッフと協力し、情報の共有・意見交換を密にし、期間・目標を定めたりハビリテーション計画書をつくり、計画的にリハビリテーションを実施します。理学療法では生活に密着した動作の練習を中心に行います。たとえば、ベッドから起き上がる、立ち上がる、車椅子や歩いて食堂やトイレに行くという一連の動作ができるように訓練室や病棟での練習を行い、ご自宅だけ早く自分で行えるようにします。歩行は自宅での生活する上でも社会生活を維持するためにも重要な動作なので、訓練室で行うだけでなく、病棟や屋外でも繰り返し練習します。退院が近づくと患者さんのご家族に介助方法のアドバイスや、生活しやすいような住宅改修の助言をします。退院後もリハビリテーションが必要な方には、フォロー先に情報を提供し連携をとります。

(写真提供

高志リハビリテーション病院)



小児施設の理学療法士



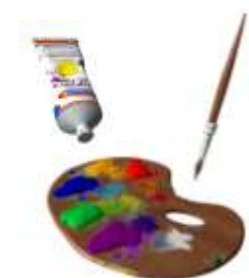
小児施設には、肢体不自由児施設や知的障害児施設、両者が統合された施設があり、心身に発達上の障がいを持つ子供のために、医療と保育が連携して総合的に療育に当たることで、子供の健康で全人的な発達を促すことを目的としています。

理学療法部門では、子供の発達年齢や障がいに応じた運動能力や日常生活動作の獲得を目的として、主に体幹・下肢を中心に個別治療・指導を行っています。また、家庭での応用や実践ができるように、家族への支援やアドバイスを行う

とともに、体幹や上下肢の補装具、車いす等の検討・調整や業者の紹介等を行っています。



小児の理学療法で、子供の発達に欠かせないのは「遊び」であると考えています。子供がどのようにして遊び、その遊びの中からどのように発達を促していけるか、そしてその遊びはどのような環境を設定すると可能なのかを子供の発達や保護者からの情報を手懸りに検討しています。また、保護者の方が自信を持って自分の子供を育てていけるように、家庭での生活を中心に考えながら、子供の発達に向けた治療・指導方法について家族への支援を行っています。



“車いす”を知ろう！

車いすの名称



他にも種類があります

標準型



介助者が押すことも、自分で動かすこともできる

介助型



不必要なものは外し、介助用にしぼりこんだつくり

リクライニング型



背もたれの部分を倒すことができ、座っていることが難しい人や、すぐに疲れてしまう人に適する

使い方のポイント

ひろげかた

シートを押しながらひろげる。手をはさまないように気をつける



たたみかた

シートの真ん中を持ち上げてたたむ



車椅子の乗り方、おり方

ブレーキをかけ、フットプレートを上げてから乗り降りする。



キャスター上げ

ティッピングレバーに足をかけて体重を乗せると、キャスターがあがる。障害物や段差を越えるのに便利



段差を上がる

キャスターを段に上げてから、駆動輪をのせる



段差を降りる

後ろ向きで、駆動輪でおりる



理学療法週間

理学療法の日・理学療法週間

日本理学療法士協会では、協会が設立した七月十七日を「理学療法の日」と定め、この日を含む一週間を理学療法週間として、毎年各都道府県で様々な活動を行っています。

理学療法週間事業

富山県理学療法士会では、医療・保健・福祉等、様々な分野で活動する理学療法士の役割を、地域の方々に十分に理解していただき、理学療法並びに理学療法士の社会的認識を高めるとともに、地域の方々の医療・保健・福祉等の向上に寄与し、ノーマライゼーションを推進することを目的とし、毎年理学療法週間事業として、イベントを開催しています。今年度は七月二十二日（日）の十時より、イオン高岡ショッピングセンター内で、イベントを開催する予定ですので、ぜひ一度お立ち寄りいただければと思います。



イベント内容

- ① リハビリ相談
介助法を含め、リハビリテーションに関する相談に応じます。
- ② 進路相談
理学療法士になるための進路相談に応じます。
- ③ 車いす体験
実際に車いすに乗っていただきながら、車いすの使用方法、介助方法等をご指導致します。
- ④ 歩行補助具体験
杖や歩行器などの使い方について、実際に使用していただきながらご指導致します。
- ⑤ 高齢者疑似体験
体験用具を着用することで高齢者の身体能力について疑似体験していただきます。
- ⑥ 体力測定
簡単な体力測定を行い、現状を知っていただくとともに、今後のアドバイスを致します。
- ⑦ 理学療法紹介
実際の理学療法実施場面の写真展示や、理学療法紹介のビデオ上映を致します。

(写真は平成十八年度の模様
イオン高岡ショッピングセンターにて)

一度いためるとなかなか厄介なのが腰、日頃の生活動作が大切です。

介護するひと
されるひとの

いきいき場

快適ポイント
アドバイス

仕事や生活動作では

姿勢



良い姿勢



腰によくない姿勢

仕事するとき



立ち仕事の場合は片足を台の上に乗せると腰がラク

寝るとき

あおむけ、横向きでは、腰へかかる負担が違うので注意しましょう。また、やわらかすぎるふとん、ベッドはかえって腰を痛めることがあります。



フカフカのベッドやふとんは腰によくない



あおむけに寝るときは、ひざの下にふたつ折りした麻ぶとんをおくと腰がラク



うつむきの姿勢は首や腰にムリがかかるのでよくない



横向きに寝るときは、ひざを少し曲げると腰がラク

すわり方



フカフカのイスは腰によくない



イスの高さが合わない時は足を置いて腰の負担を減らす

介護動作では

物を持つとき

物を持ち上げるときや立ちすわり介助のときは、ひざをのびたまま中腰で持ち上げると腰をいためます。対象者の体を引き上げる介助のときは、なるべく近づいて、ひざの曲げ伸ばしを使うことが大切です。



力の方向

介助するとき相手の姿勢や体重のかけり方(重心の位置)によって、同じことをするにも大きな力が必要になったり、少しの力ですんだりという違いがあります。相手の体重や方をうまく導くのが、少ない力で介助のコツです。





表紙の写真は、脳内出血で入院され、自宅退院へ向け歩行練習に励んでおられる姿を写したものです。理学療法士は就職二年目の新人さんです。



社団法人 日本理学療法士協会
富山県理学療法士会

〒936-0023 富山県滑川市柳原 149-9
富山医療福祉専門学校 理学療法学科内
TEL・FAX. 076-476-1716
URL:<http://toyamapt.umin.ne.jp/>
事務局アドレス:toyamapt-office@umin.ac.jp